



きがわ つよし

木川 剛志

教授

所属

観光学部

出身地

京都市上京区（生まれ）
滋賀県大津市（育ち）

出身校

- 京都工芸繊維大学
- ロンドン大学バートレット大学院

趣味

仕事

研究テーマ（専門分野）

建築・都市形態学 観光ドキュメンタリー

研究概要

都市形態学を専門とする関係から、都市住民が集合的に共有する都市に対するイメージをドキュメンタリー映像制作を通じて抽出することを試みている。特に日本の地方都市は城下町から空襲による破壊、復興、郊外への拡大と大きく変容しており、その一方で住民たちの記憶の中にはかつての都市形状が残っており、記憶の中の都市像と現実との乖離が起きていることが、現在の都市問題につながっているのではないかと考え、研究を進めている。一方、都市以外にも、観光における地域の魅力、人々の魅力の潜在的側面をドキュメンタリー映像によって可視化することも研究としている。

主な研究業績（論文や著書）

著書

木川剛志 (2021) : 「戦後期横須賀における米軍属と地域住民」 in 空想から計画へ：近代都市に埋もれた夢の発掘，中川理，空想から計画編集委員会編

論文

Tsuyoshi KIGAWA, Kyung Wook SEO (2019) : Decoding Urban Kernel in Japanese Port cities by means of Space Syntax, Proceedings of the 12th International Space Syntax Symposium

作品

木川剛志 (2021) : Yokosuka 1953, ドキュメンタリー映画 監督，東京ドキュメンタリー映画祭 2021 長編部門グランプリなど
木川剛志 (2017) : 替わり目，短編映画 監督，第9回商店街映画祭グランプリ

主な社会貢献活動（各種委員会委員）

- 日本国際観光映像祭 ディレクター
- 福井駅前短編映画祭 プログラミングディレクター
- 甲賀市 観光戦略策定委員会 委員長

メッセージ

ドキュメンタリー映画は、映像作家だけのものではなく、研究者にとってもその学術研究の成果として取り組むべきメディアです。和歌山県内の魅力的な風景、その風景を作り上げてきた人々の生活を映像として後世に残すことをこれからはがんばっていきたいです。